

プレスリリース

ドイツ・シュツットガルト、2021年7月28日

マーレ、アフターマーケット事業が堅調に拡大

- ・ 2020年度のアフターマーケット事業は、新型コロナウイルス禍でも堅調な業績を確保
- ・ 今後の戦略的事業分野として「デジタル化」「ワークショップアンドフロア向け新規事業&機器」「サーマルマネージメント」などに注力する方針
- ・ 多数の革新的製品により、調整機器やトランスミッションオイル、空調システム整備などの分野で強固な地位を確立
- ・ バッテリーや燃料電池など代替駆動システムのメンテナンス需要に対応するアフターマーケット製品の拡充にも注力

2020年度のマーレ「アフターマーケット事業」は、新型コロナウイルスの影響による異例の事業環境下でありながら売上高8億9,800万ユーロを達成することができました。マーレグループの中で補修部品やワークショップアンドフロア向け機器を取り扱う「アフターマーケット事業」の業績は、成長軌道にあります。同事業部門が戦略的事業として注力するのは「サービス・情報プロバイダー・プロセスのデジタル化」、「ワークショップアンドフロア向け新規事業&機器事業の開拓」、「サーマルマネージメント分野の拡大」の3分野です。アフターマーケット事業は、調整機器やトランスミッションオイル、空調システムなどのサービス・メンテナンスの分野で幅広い製品を提供しており、市場での強固な地位を確立しています。また、バッテリーや燃料電池など代替駆動システムのアフターマーケット需要への対応も強化しています。電気自動車向けに提供する空調フィルタはおよそ200種類、ハイブリッド車向けオイル/燃料フィルタは80種、燃料電池車やハイブリッド車向けエアフィルタは70種と、すでに充実した製品ラインナップを構築しています。

7月28日（水）にドイツ・シュツットガルト本社で行われた記者会見で「OEMメーカーへの部品供給ノウハウを活かし、市場トレンドを予測し、技術動向を早期に見極めることで、当社の戦略的分野から幅広い製品を独立系ワークショップアンドフロアに提供していきます」とマーレのアフターマーケット事業でCorporate Executive Vice President 兼 General Managerを務めるOlaf Henningはコメントしています。

アフターマーケット事業の未来を支える柱の一つとなるのが「デジタル化」です。マーレはこの分野に対し、今後3年間で約1,600万ユーロを投資する計画です。対象となるのは大きく分けて2つの分野です：1つは「情報サービス」。ワークショップアンドフロアのデジタル変革がスムーズに行われるようサポート体制を整えます。そしてもう1つは、「物流プロセスのデジタル化と自動化」です。

マーレは、これまでも幅広いデジタル情報技術の提供を通じ、ワークショップアンドフロアの作業効率向上に貢献してきました。また、サーマルマネジメントやワークショップアンドフロア向け機器など、その他の戦略的分野でもデジタル化を推進しています。内燃機関を採用した車両の整備需要は減少の傾向にありますが、デジタル化を推進することで、バッテリー温度管理システムの整備や運転支援システムの調整、そして多様化する空調システムのメンテナンスなど、ワークショップアンドフロア向け対応が新たな分野を開拓します。

次世代車両においては、電動モーターやパワーエレクトロニクス、バッテリーなどの冷却、車内温度の管理、そして半自動運転車への対応が今後ますます重要になることが予想されます。こうした新たな需要への対応を支援する革新的製品を、マーレ「アフターマーケット事業」は数多く提供しています。調整ツール「TechPRO Digital ADAS 2.0」はその好例です。この製品で、マーレはワークショップアンドフロア向け機器を飛躍的に進化させ、その可能性を大きく広げていきます。最新バージョンでは自動車両認識技術を採用し、運転支援システムの校正を完全自動化。従来は30分程度要していた工程を、1分以内へと大幅に短縮化することに成功したのです。半自動運転や車線逸脱警報（LDW）、ブレーキアシストといった新たな車両技術の整備需要は大きく拡大しています。

マーレ「アフターマーケット事業」の強みは、マーレグループが誇る幅広い技術力にあります。当社では、電動モーター、燃料電池、そして非化石燃料を使用するインテリジェント内燃エンジンという3つの駆動システムを柱とした「持続可能なパワートレイン技術」の開発に注力しています。マーレグループの研究開発の努力は、未来のアフターマーケット技術にもつながっています。車両診断、調整、サーマルマネジメント、そして流体マネジメントの分野を中核に据えながら、フィルタやエンジン部品など従来製品についても、これまで通り信頼性の高い技術力でワークショップアンドフロアの需要に応えていきます。



The MAHLE TechPRO Digital ADAS 2.0はMAHLE Service Solution製品ラインナップのハイライトの1つである。

お問合せ先（報道・メディア）：

マーレジャパン 広報担当者（仮）

坂野 慎哉 / 牧田 さやか

Tel: 050-3363-0302

E-mail : info.jp@mahle.com

マーレについて

1920年に設立したマーレは自動車産業のグローバルなサプライヤーおよび開発パートナーとして世界をリードする企業です。マーレのパワートレインとサーマルマネジメント分野のテクノロジーは将来のモビリティに明確にフォーカスしており、その分野で高い地位を確立しています。また、マーレはデュアルストラテジーを提唱し水素や他の非化石燃料を使用するスマートな内燃エンジンと燃料電池や電気自動車の技術に取り組んでおります。マーレはパワートレインと空調分野において多岐にわたる製品ラインナップを展開しています。

#weshapefuturemobility

2020年の売上高は98億ユーロ（1兆2716億円）。現在、世界30ヶ国以上、160の生産拠点と12の開発センターを持ち72,000人以上が従事しています。（2020年12月31日現在）

マーレ アフターマーケットについて

スペアパーツを専門とするビジネスユニットであるマーレアフターマーケットは、OEM生産から得た専門知識をもとに、商社、ワークショップ、およびエンジン修理パートナーに商品を供給しています。ポートフォリオには、MAHLE Service Solutionsがワークショップ機器用に開発した製品や総合的なサービス、カスタマイズされたトレーニングプログラムも含まれています。

マーレアフターマーケットは、世界中に25の拠点と営業所を持ち約1,700人の従業員を擁しています。2020年のビジネスユニット全体の売上は約8億9,800万ユーロ。